

ウォーキングみどころガイド

天龍村 (長野県下伊那郡天龍村)

天龍村は長野県の南の端に位置し、四方を山々に囲まれ、村の中央にはかつて「暴れ天竜」の名を欲しいままにした天竜川が流れています。気候は県下でも指折りの温暖な気候で、梅・茶・柚といった作物が特産品となっており、桜の開花も早く「信州に春を告げる村」をキャッチフレーズにしています。また、古くからの伝統芸能も多く、毎年正月に行われる霜月神楽は、国の重要無形民俗文化財に指定されています。

ふれあいステーション龍泉閣 (TEL.0260-32-1088)

白壁土蔵の雰囲気漂う「龍泉閣」には、レストランと宿泊施設や展望風呂があります。4階のおきよめ温泉を利用した展望風呂（龍泉の湯）で疲れをとり、施設内の各所を楽しんでみてはいかがでしょうか。

満島神社

明治41年の「神社合併令」により、満島地区の6社が合併して満島神社となりました。主祭神の天照皇大神をはじめ、諏訪大明神、八幡様、稲荷様、巳（蛇）の神、馬頭観音がまつられています。10月中旬のお祭りでは、神様をのせた輿が本宮（原のお宮）から前宮（南のお宮）まで行列を組んで練り歩き、その豪華絢爛さは、まるで古の大名行列を思わせます。

弘法様

毎年4月に地区の有志が弘法大師の命日祭を行っています。古くからこの名称で呼ばれている地籍であるが、由来等は明らかではありません。

戸澤神社

いつの頃からか学問の神様として信奉を集め、試験前に参拝すると必ずいい点をとれると言われていました。社は険しい山の頂上付近にあり、「龍頭付きの石釣鐘」が置かれているので別名「釣鐘様」とも呼ばれています。

十方峡 (じっぽうきょう)

戸澤神社や釣り鐘淵を含むこのあたりの渓谷の美しさに痛く魅せられた、かの有名な「荒木十畝」が大正14年にこの地を訪れ、命名されたといわれています。

平岡ダム・平岡発電所 (松島桜公園)

戦中、戦後の昭和15年から昭和27年の12年を間けて建設された平岡ダムは、高さ62.5m、長さ258mあり、佐久間ダムができるまで「東洋一」と言われました。ダムから山の反対側にある平岡発電所へ水が送られ、4基の発電機を回し10万1千kwの電力を発電しています。また、発電所内の桜（ソメイヨシノ）は、長野県で最も早く咲きます。

十五社

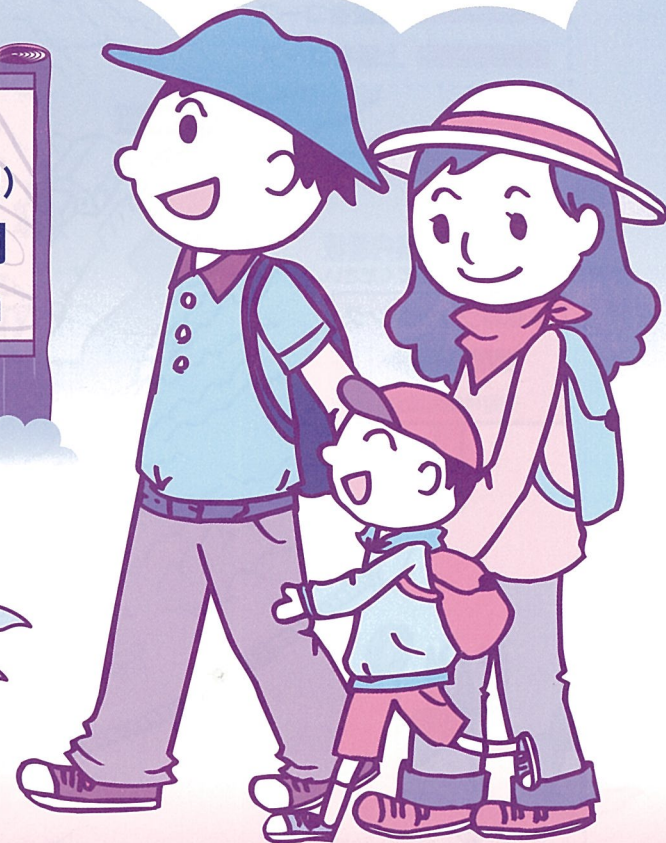
天保元年（1644年）建立の十五社は、天神七代を主祭神として奉っています。毎年10月10日に催されるお祭りでは、各家から持ちよった小豆ともち米で“おこわ”を炊き、木製のお椀に山盛りにもってふるまわれます。

天龍村ウォーキング

じっぽうきょう

十方峡コース

平岡ダム湖畔と十方峡を歩く



天龍村観光協会

〒399-1201 長野県下伊那郡天龍村平岡878番地 TEL (0260) 32-2050
□http://www.vill-tenryu.jp □E-mail: info-kanko@vill-tenryu.jp

天龍村役場振興課

TEL (0260) 32-2001

天龍村ウォーキング

じっぽうきょう

十方峡コース

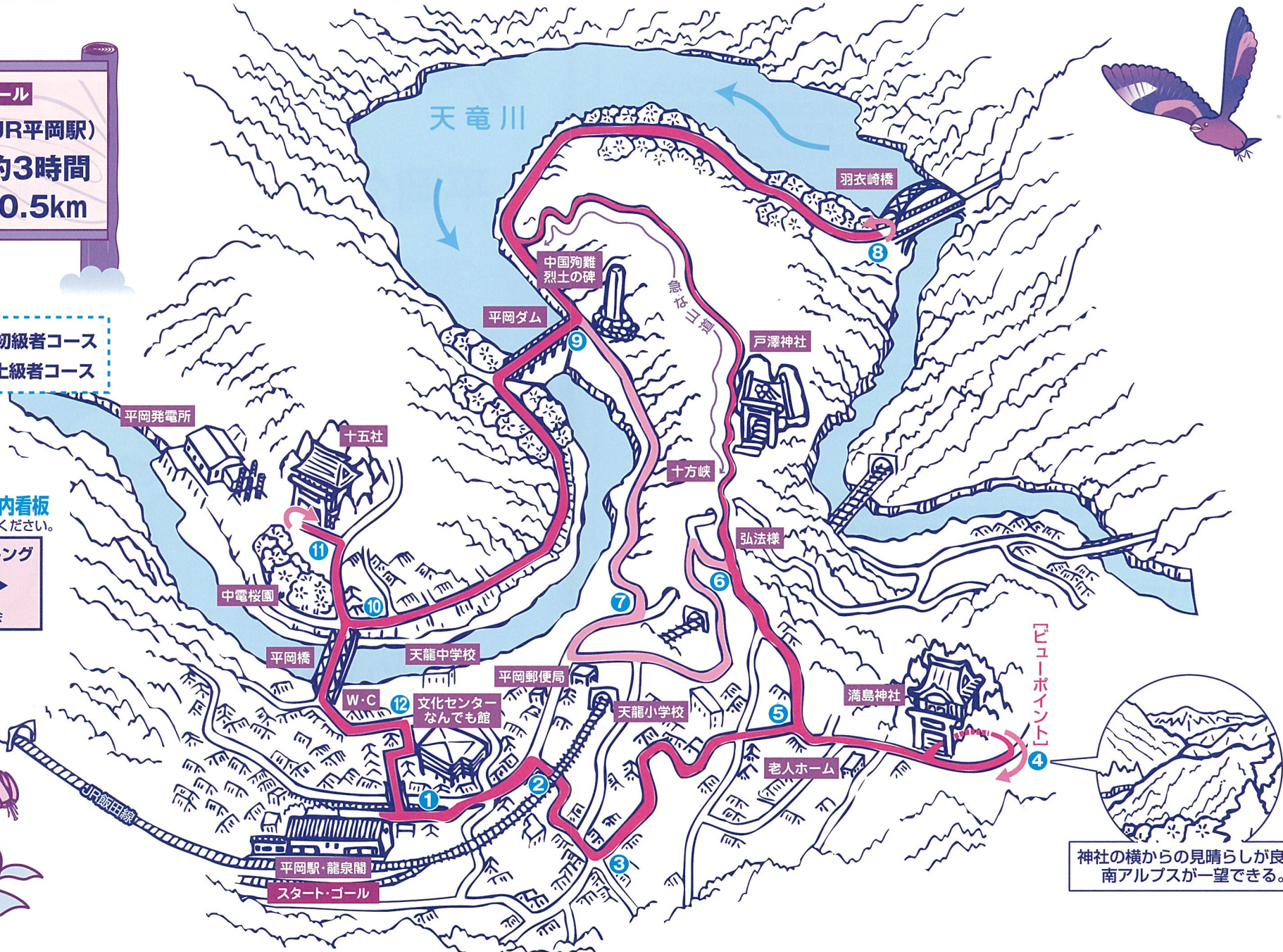
平岡ダム湖畔と十方峡を歩く

スタート・ゴール
龍泉閣 (JR平岡駅)
所要時間 約3時間
コース廻り 10.5km

初級者コース
上級者コース

①～⑫コース案内看板
この案内看板に従ってください。

天龍村ウォーキング
天龍村観光協会



神社の横からの見晴らしが良く、南アルプスが一望できる。